

| | | | | | |
|--|---|--|---|--------------------|-------------|
| 講座番号 | 423 | 体系区分 | 専門研修 | 主催 | 京都府総合教育センター |
| 令和2年度 中学校・高等学校国語科教育講座 ー実用的な文章へのアプローチー 実施要項 | | | | | |
| 講座のねらい | 今、求められている国語科の学習指導における実用的な文章を読む力を育てる指導方法について学び、指導力の向上を図る。 | | | | |
| 京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応 | ステージ2 中堅期（7年～15年） 観点：学習指導 ・学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ・各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。 | | | | |
| 受講対象 定員 | 国語科担当教諭（中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校） 20名 | | | | |
| 日時 | 令和2年 8月20日（木） 13:00～17:00 | | | | |
| 会場 | 京都府総合教育センター | | | | |
| 13:00 14:00 14:15 15:45 16:00 17:00 | 講義題等 | | 内 容 | | |
| | 講 義 I | 主体的・対話的で深い学びを実現する国語科学習指導の在り方 | ・主体的・対話的で深い学びを実現する国語科の学習指導について理解する。 | | |
| | | 岡山理科大学 | 准教授 | 札 埜 和 男 | |
| | 演 習 | 実用的な文章を教材とした授業について | ・実生活で直面する「実用的な文章」を読むという学習指導について、演習を通して学ぶ。 | | |
| | | 岡山理科大学 京都府消費生活安全センター | 准教授 消費者教育コーディネーター | 札 埜 和 男 木 戸 明 美 | |
| | 講 義 II | 「実用的な文章」を読むということ | ・講義や演習を通して学んだことを深め、授業改善や今後の授業づくりの見通しをもつ。 | | |
| | | 岡山理科大学 京都府消費生活安全センター | 准教授 消費者教育コーディネーター | 札 埜 和 男 木 戸 明 美 | |
| | そ の 他 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場は座席の間隔をとり、換気を行います。マスクの着用、センター玄関での手指の消毒又は石鹸での手洗い等を各自行ってください。 ・担当部……研修・支援部 TEL：075-612-2952 | | | |